

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2024年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会申し合わせ事項により実施する。
※競技用シューズについて、競技規則TR5.2は適用しない。

2 練習について

- (1) 練習は、サブトラックを使用すること。ただし、練習器具の持ち込みは一切禁止とする。
また、80mハードルとジャベリックボール投の練習は禁止とする。
- (2) コンバインド競技の練習は、招集後競技場内で競技役員の指示に従い行うこと。
- (3) 練習は、「事故防止」に万全を期すこと。また、荷物などは個人が責任を持ち管理すること。

3 招集について

- (1) トラック競技は、100mスタート側ゲート付近競技場外側で招集を行う。
コンバインド競技とフィールド競技は、雨天練習場で招集を行う。
- (2) 各種目の招集開始時刻・完了時刻は、プログラムの競技日程欄を参照すること。
(種目によって招集時間が違うのでよく確認しておくこと)
- (3) 招集の手順
 - ① 招集開始時刻に招集場所で競技者係の点呼を受ける。その際、アスリートビブス・スパイクピン(走高跳は12mm以内、その他は9mm以内)等の点検を受ける。
 - ② トラック種目については、競技者係で写真判定用の腰ナンバーカードを渡すので、右腰に貼付し競技に出場する。競技終了後、係の用意したゴミ袋に入れること。
 - ③ 最終点呼の代理人は認めない。
 - ④ 競技を欠場するものは、欠場届を庶務係(Cゲート学校受付)に提出すること。
 - ⑤ コンバインド競技は、第1種目のみ競技者係で点呼を受ける。第2種目の競技は競技開始時刻の40分前までにフィニッシュ側ゲート外側に集合すること。(男子コンバインドBについては45分前)
- (4) 招集完了時刻に遅れた競技者・チームは出場する意思がないものと見なし処理する。

4 競技について

- (1) レーン順・試技順は、普及委員会HPに掲載しているプログラム記載順とする。
- (2) 100m・80mハードル・4×100mは、クラウチングスタートを原則とする。また、決められたレーンを走る。
- (3) スタートブロックの使用は、80mHと100m・4×100mの決勝(希望する者)のみとする。
- (4) 100m・4×100mの予選はタイムレースで行い、上位8名(チーム)で決勝を行う。予選の結果、決勝への出場資格者は場内アナウンスで発表する。
- (5) リレー競走におけるテイクオーバーゾーンは基準点から手前20m後ろ10mの合計30mとする。
テイクオーバーゾーン外から走り出すことはならず、ゾーンの中でスタートしなければならない。
- (6) リレー競走に出場する選手のユニフォームは原則としてチームの全選手ともデザイン配色が同一とする。ただし、男女による型の違いは認めるものとする。
- (7) 競技結果については、場内アナウンスおよびスクリーンで発表する。
なお、競技結果が場内スクリーンに確定表示された時点を、正式発表とする。
- (8) リレーオーダー用紙について、予選は出場種目の1組招集完了時刻の2時間前から1時間前までに、決勝は変更の有無にかかわらず招集完了時刻の1時間前から40分前までに庶務係へ提出すること。
なお、けが・病気等でリレーチームが組めなかった場合は、残りの児童は友好レースに出場できる。
友好レースに出場する児童も下記の時間内(予選)に名前を提出すること。

[予選・決勝オーダー用紙は、庶務係(Cゲート学校受付)へ取りに行くこと]

予選	7時30分～ 8時30分
決勝	11時25分～11時45分

- (9) トラック競技における決勝への進出については、その最下位で同タイム(1/100秒単位)が出た場合、写真を拡大して1/1000秒単位で優劣の判定をする。
- ① レーンに余裕がある場合………同タイム(1/1000秒単位)の選手の進出を認める。
 - ② レーンに余裕がない場合………本人または代理人により抽選する。
- ※全国大会出場資格決定の場合も、上記に準じて決定する。

コンバインド競技

- (10) 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを超え、マットへの着地は足裏からとする。背や腰などからの着地は無効試技とする。判定は競技役員に従う。
- (11) 走高跳は、自分が申告した高さから試技を開始し、2回続けて失敗した時点で終了とする。
- (12) 走高跳のバーの上げ方は、次の通りとする。

男子	(1.00練習)	1.00-1.05-1.10-1.15-1.18-1.21	以降は3cmきざみで上げる
女子	(1.00練習)	1.00-1.05-1.10-1.15-1.18-1.21	以降は3cmきざみで上げる

- (13) 走幅跳、ジャベリックポール投は全員2回の試技とする。
- (14) ジャベリックポール投の助走距離は15m以内とする。
- (15) ジャベリックポール投の試技の際には、ポール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることにする。羽だけを持って投げることは禁止する。
- (16) コンバインド競技について
- ① 80mハートルと走幅跳における風速は得点・順位に影響しない。
 - ② スタートまたは試技を行ない、途中棄権、記録なし、失格の場合は0点とする。
 - ③ 最初の種目に出場し、途中棄権、記録なし、失格の場合、2種目目の出場は可能とする。
 - ④ 最初の種目で欠場した(スタートまたは試技を行わない)競技者は、2種目目には出場できない。
 - ⑤ 2種目の合計得点で順位を決定する。合計得点が同点の場合は、同順位とする。
- ※全国大会出場資格決定の場合は、本人または代理人により抽選をする。

オープン競技(走高跳・走幅跳)

- (17) 走高跳は、コンバインド競技(10)(12)と同様とする。
- (18) 走高跳は、自分が申告した高さから試技を開始し、3回続けて失敗した時点で終了とする。また、1位決定のバーの上げ下げは2cmとする。
- (19) 走幅跳は、3回の試技を行い、上位8名はさらに3回の試技を行う。

5 競技用具について

- (1) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。
- (2) リレーのマーカ―(白布ガムテープ：大きさ最大50mm×400mmで1カ所使用)は各チームで用意する。
- (3) 走高跳のマーカ―は、競技役員から受け取ったテープのみの使用とする。

6 抗議について

- (1) 競技中に起きた競技者の行為、順位に関する抗議は、結果の発表後30分以内に、次のラウンドが行われる場合は15分以内に、本人または監督から審判長に対して口頭で申し出る。受付は庶務係(Cゲート・学校受付の場所)で行う。

7 表彰について

- (1) 1～8位の入賞者(チーム)を表彰を行う。各競技終了後ただちに正面玄関ロビーに集合する。

8 その他

- (1) 競技役員・選手以外は許可なく競技場内に入ることを禁止する。
- (2) 競技中に発生した傷害・疾病について、主催者は傷害保険に加入の範囲内および現場での応急処置以外の責任を一切負わない。
- (3) 貴重品・荷物等は、各自で管理し盗難にあわぬよう十分に注意すること。万一盗難にあった場合、主催者はその責任を負わない。なお、拾得物については庶務係(Cゲート・学校受付)で保管する。
- (4) 100m・混合リレーとコンバインドの優勝者は、全国大会の出場資料を渡すので指導者または保護者は庶務係(Cゲート・学校受付)へ受け取りに来ること。
- (5) **ゴミは、各自で自宅へ持ち帰る。**